

このまちの100年

「北九州」

戦国時代に小倉城が築城され、江戸期には城下町も発達。明治期以降、一帯では陸軍関連や貿易、炭鉱、製鉄などの産業が発展を見せます。昭和38年、門司・小倉・八幡・若松・戸畑の5市が合併し北九州市が誕生しました。



大正15年頃

大正期の若松市街の中心部の様子



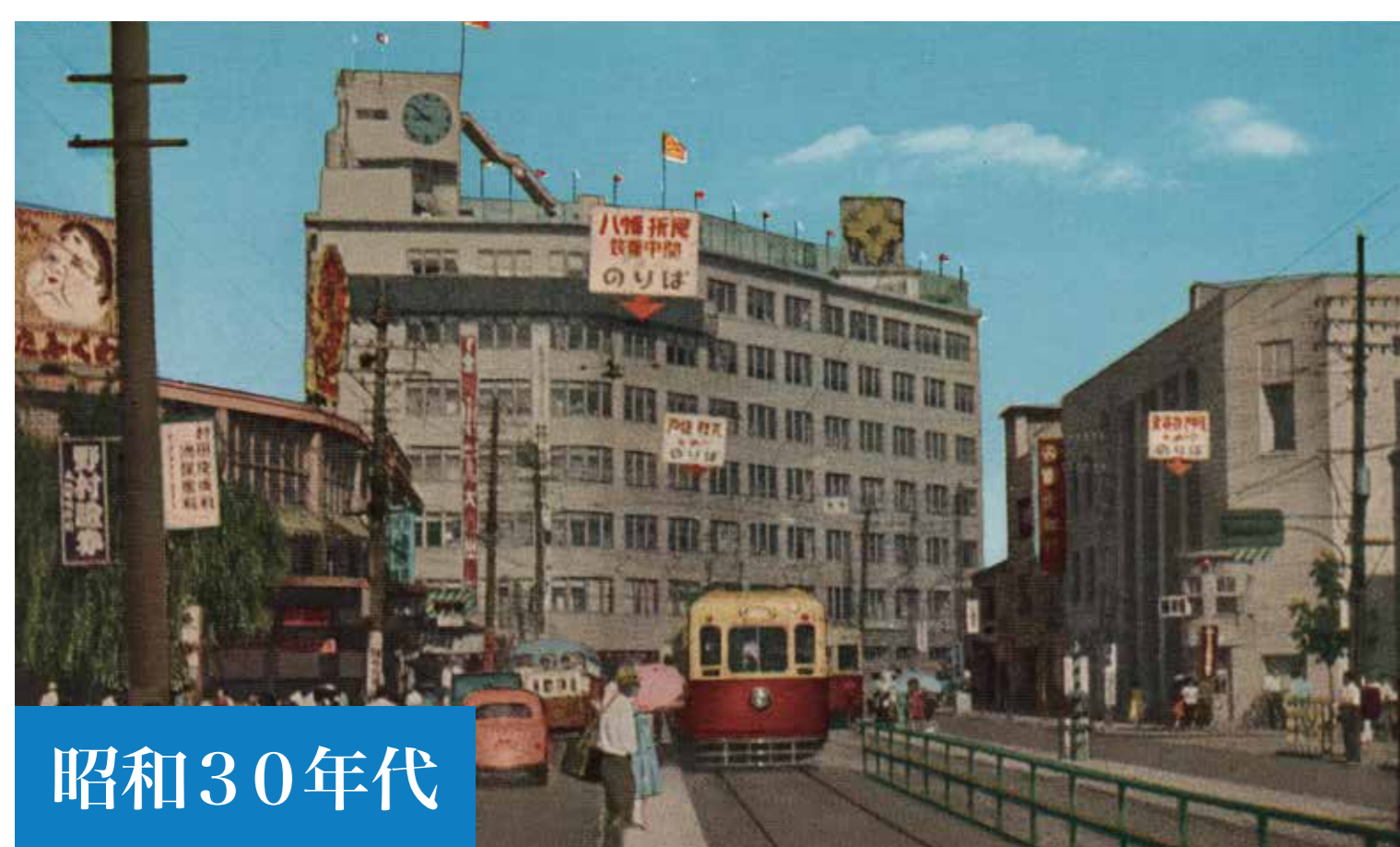
昭和10年頃

鹿児島本線の起点、門司港駅。現在も使われている二代目駅舎



昭和15年代

小倉の中心部にある魚町商店街



昭和30年代

昭和11年に小倉に開店した、井筒屋本店と西鉄北九州線の路面電車



昭和30年代

昭和33年に移転・開業した小倉駅。商業施設、ホテルなども入る民衆駅(駅ビル)となった



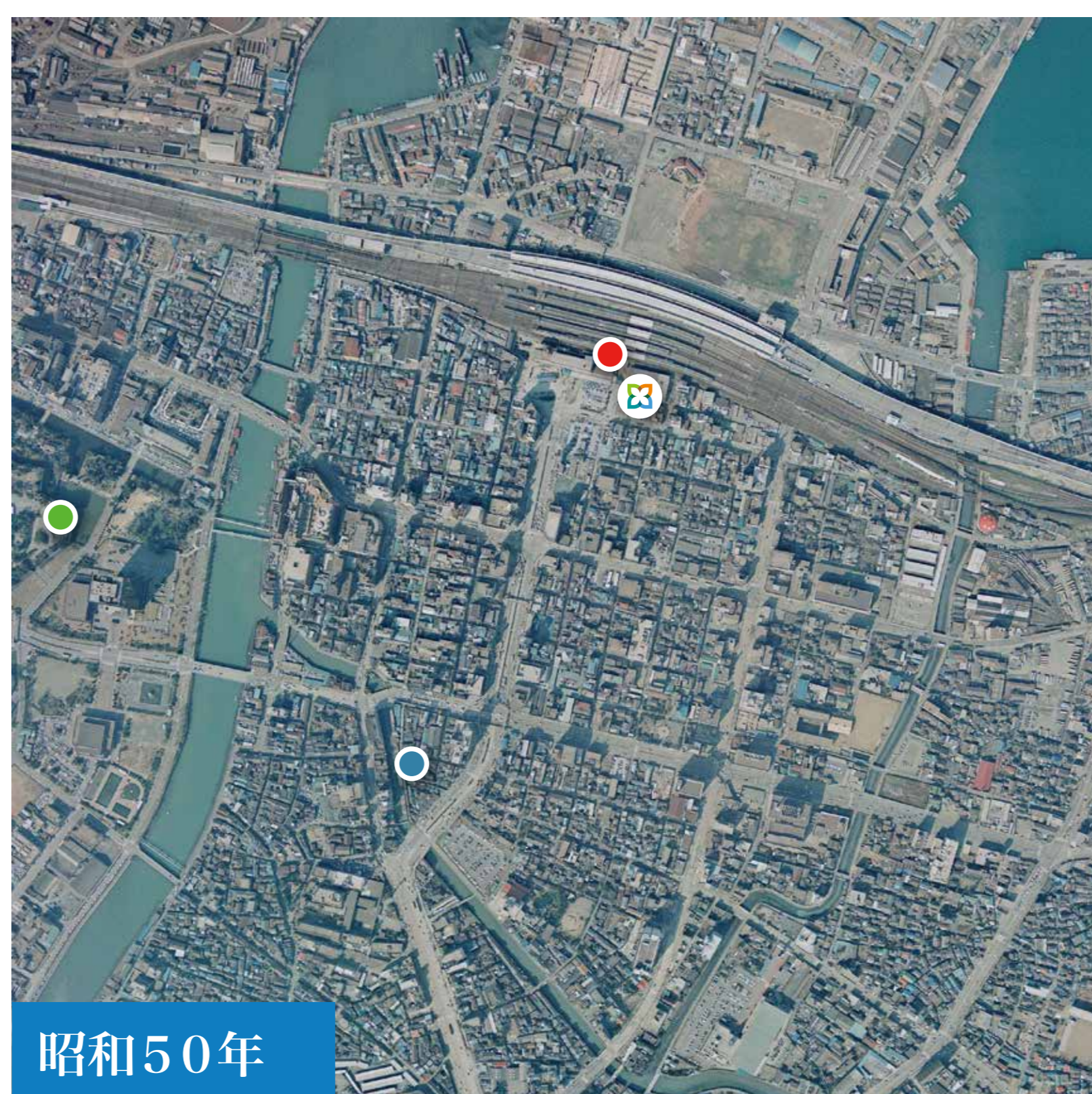
昭和30年代

門司の棧橋通り。左の建物は、昭和9年に横浜正金銀行門司支店として建設されたもので、現在も残っている

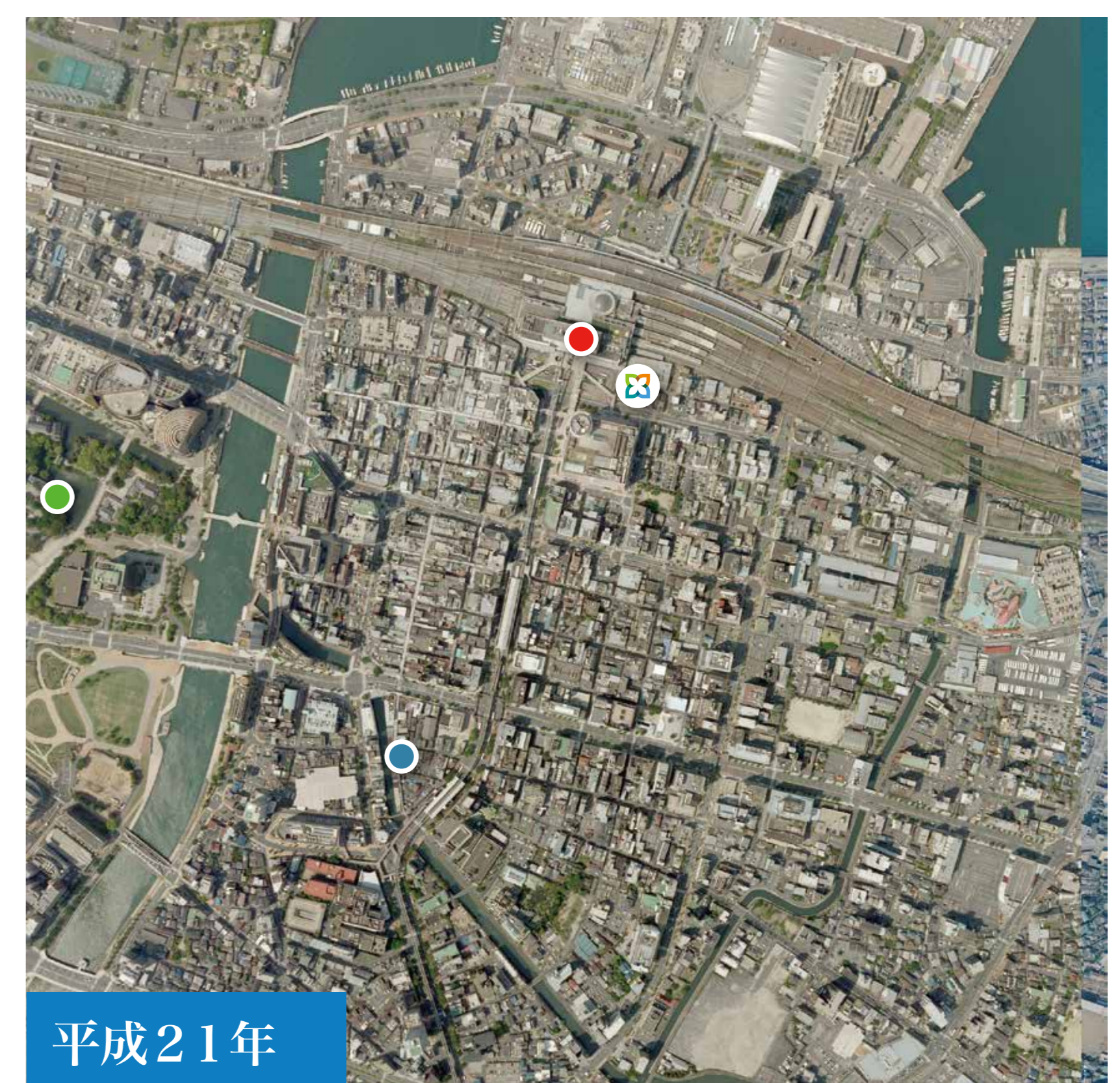
上空からみた北九州 小倉エリア



昭和23年



昭和50年



平成21年

☒ : 現在地
● : 旦過市場 ● : 小倉城址/小倉城 ● : 小倉駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ